

令和 4 年度 さいたま市地域公共交通協議会
第 2 回東西交通専門部会 議事録

□日時：令和 5 年 1 月 20 日（金）9 時 30 分～11 時 15 分

□場所：新都心ビジネス交流プラザ 4 階 会議室 A

□配布資料

- ・ 次第
- ・ 出席者名簿・席次表
- ・ 東西 1 東西交通大宮ルートの検討概要（ふりかえり）
- ・ 東西 2 過年度専門部会への対応方針
- ・ 東西 3 令和 4 年度専門部会の協議内容
- ・ 参考 令和 4 年度第 1 回専門部会議事録

1. 開会

【事務局】

- ・ 定刻となりました。令和 4 年度さいたま市地域公共交通協議会第 2 回東西交通専門部会を開会いたします
- ・ 部会の欠席者につきまして、中村委員と福島委員からは欠席の連絡をいただいておりますが、福島委員につきましては、出席者名簿には反映できてございません。お二人には後日、本日の資料をお届けさせていただきます。
- ・ 代理出席につきまして、国際興業株式会社・運輸事業部担当部長・中村委員の代理にて、運輸企画課長細川様にご出席いただいております。
- ・ 本日の資料について確認します。

（配布資料の確認）

- ・ これより議事に移りたいと存じます。進行につきましては、「さいたま市地域公共交通協議会東西交通専門部会設置規程」の規定により、部会長が議長となることとなっておりますので、大沢部会長にこれからの会議の進行をお願いしたいと存じます。大沢部会長、よろしくお願いいたします。

【大沢部会長】

- ・ 東西交通専門部会設置規程の規定により、議長を務めさせていただきます。委員の出席状況について事務局より報告をお願いします。

【事務局】

- ・ 委員の出席状況についてご報告いたします。本日は、14名の委員中12名の出席でございます。したがって、委員の過半数に達しておりますので、専門部会設置規程により本日の会議は成立いたしますことをご報告いたします。

【大沢部会長】

- ・ 事務局の報告のとおり、本日の会議は成立いたしました。次に、会議録の署名委員を決めたいと存じますが、さいたま市地域公共交通協議会東西交通専門部会運営規程より、私から指名させていただきます。
- ・ 今回の署名につきましては、埼玉県乗用自動車協会の藤田委員、戸村委員、以上お二人にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

(署名委員の指名について了承)

【大沢部会長】

- ・ 続きまして、本日の会議の公開について、非公開事項に該当する議事があるか、事務局よりご報告をお願いいたします。

【事務局】

- ・ 本日は、非公開事項に該当する議事はございません。

【大沢部会長】

- ・ 本日の会議は公開で行いたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(出席者全員一致で、会議を公開で行うことを確認し、了承)

【大沢会長】

- ・ 傍聴につきまして、事務局からご報告をお願いいたします。

【事務局】

- ・ 本日は2名の方の傍聴者がいらっしゃいますので、傍聴者が入場するまで、しばらくお待ちください。

(傍聴者入場)

【大沢部会長】

- ・ 議事に入ります前に、傍聴される皆様に傍聴上のご注意を申し上げます。事務局より配布しました傍聴要領をお読みになり、遵守いただきますようお願いいたします。また傍聴要領に反する行為をした場合には退場していただく場合もありますのでよろしくお願い致します。

2. 議事

(1) 東西交通大宮ルート of 検討概要 (ふりかえり)

【大沢部会長】

- ・ 議事 (1) 東西交通大宮ルート of 検討概要 (ふりかえり) について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

東西 1 「東西交通大宮ルート of 検討概要 (ふりかえり)」 of 説明

【大沢部会長】

- ・ ご説明 of ありました東西交通大宮ルート of 検討概要 (ふりかえり) について、ご意見・ご質問はございますか。

【松本委員】

- ・ 国の交通政策審議会でも新たな交通をさいたま新都心、もしくは大宮駅に入れることが位置付けられ、かなりの時間が経過している。このような状況の中、さいたま新都心への市役所本庁舎の移転が議会で決定され、重要な変化があったと感じます。
- ・ ご説明の中で、15 年を目途に検討を進めると of 説明があったが、市役所がさいたま新都心に来ることが決定しているのであれば、採算性度外視でも、市民 of 利便性を考えると、東西交通も早急に具体的な部分を練り上げていくべきではないかと思っています。

【事務局】

- ・ 昨年 4 月に「さいたま市役所 of 位置に関する条例 of 一部を改正する条例」が可決され、さいたま新都心に市役所新庁舎が来ると決定した次第です。資料に 15 年後を目途と記載しているのは、答申が 15 年間隔ということで、それに合わせたものになります。
- ・ 速やかに検討を進めるという意味では、以前の部会の中でも、LRT にこだわらず様々な交通モードを検証して見極めながら検討を進めていくとしており、BRT や路線バス of 拡充も含めて、まずはどのような交通モードが最適かをしっかりと議論をして決めていきたいと考えています。

【松本委員】

- ・ 議論をするとしても、ある程度時間を決めないとまとめきれない部分も見えてくると思います。市役所本庁舎の移転は公に約束していることであり、それに合わせて如何に具体化するかを念頭に置くべきだと思います。
- ・ 大宮とさいたま新都心 of まちづくりについては、総合振興計画でも強調されている部分で、大宮と浦和美園などの都心地区 of 連携についても議論が交わされており、都市軸 of 強化の部分で東西交通 of 役割は大きいのではないかと思います。

- 様々あり簡単ではないと思うが、このような面からも、事務局には積極的に調整をしていただきたいと考えます。個人的には、地下鉄 7 号線の延伸は市民が分かってきている部分があるが、東西交通は議論だけをして置いていかれてしまうのではないかと懸念しています。市民が利便性を感じられるものを、新庁舎移転に間に合うように具体化することが、我々の一つの役割と感じています。

【事務局】

- 地下鉄 7 号線延伸や本庁舎移転は、東西交通にとっても大きな外的要因と考えています。本庁舎の規模も検討中と聞いており、どの程度の市民の方が訪れるかもその中で検討されると思います。東西交通の検討においても、これらの需要を費用便益分析に入れて検証していきたいと思います。
- 今回の部会での協議の中で、採算性について検討しており、BRT や路線バスの拡充程度ではないか、という結果も見えてきています。これまでは LRT の整備が前提で道路空間整備の問題なども大きかったですが、交通モードが絞られることで、早めに検討が進む側面があるのではないかと考えています。
- 新都心に庁舎移転が決まったことで、市役所自体の移動もあるが、新都心の拠点性がさらに重要視されてくると思います。ご意見をいただいた点もしっかり今後の検討に反映していきたい。

【大沢部会長】

- 次のターニングポイントは答申だけではなく、市役所本庁舎の移転等も見据えて準備をしておかないと、後々大変になるということかと思います。また、首都高延伸の時期など、その他のターニングポイントになりそうな事案を見据えながら進めて頂ければと思います。

【戸村委員】

- 最近、さいたま新都心に若いファミリー層など人が多く、買い物や食事をしているのを見て、すごいなと感じています。さいたま新都心は市役所移転やバスターミナルの他、西側の日赤病院など、拠点として納得できるエリアになっていくと思います。
- 大宮駅周辺でも新たなビルが建設されており、今後発展していくものだと思います。東日本の玄関口として交通が整い、東西交通にもそれをどのように活かすかということが問われると思います。
- どのような交通モード、ルートにするかという点では、全てのルートの B/C が 1 を上回っていますが、まちづくりの計画や施設立地がある等、ルート設定の詳細な理由や将来の展望等がより見える化された材料をいただければ、より議論が白熱するかと思います。

【大沢部会長】

- 議事内容（3）今後の検討の中にも入ってくることかと思うので、是非ご指摘を反

映していただければと思います。

- ・ B/C が 1 を超えることは事業化の前提条件ですので、細かい内容につきましては、今後ご報告いただければと思います。

(2) 過年度専門部会への対応方針

【事務局】

東西 2 「過年度専門部会への対応方針」の説明

【大沢部会長】

- ・ 答申ありきでなく、これまでも議論してきた東西交通の真のニーズを反映していくことになるかと思いますが、こちらの内容についてご意見・ご質問はございますか。
- ・ 議事(3)が本日の主な大きな内容になるかと思うので、何かありましたら、後ほど合わせてご質問いただければと思います。

(3) 令和 4 年度専門部会の協議内容

【事務局】

資料 3 「令和 4 年度専門部会の協議内容：①移動ニーズを踏まえた新たな交通サービス導入の必要性の検証」の説明

【大沢部会長】

- ・ 只今、事務局より説明のありました令和 4 年度専門部会の協議内容について、ご意見・ご質問はございますか。

【戸村委員】

- ・ 輸送システムの整理を示していただいたが、名古屋などで導入を目指している SRT はどのカテゴリーに入ると理解すればよいでしょうか。

【事務局】

- ・ 輸送の規模的には BRT のカテゴリーに含まれると考えています。

【高田委員】

- ・ BRT やバスの採算ラインを整理いただいているが、BRT は三陸の様に専用軌道とするか、一部が道路と混在するかで条件が異なってくると思います。
- ・ 後ほど、ご報告あるかと思いますが、社会情勢として事業者のドライバー確保も問題となっており、個人的な感覚では日本でも法人のドライバーだけでは補いきれなくなってきた、欧州等の諸外国の様に深刻な状況になっていくイメージを持っています。

- ・ 移動状況として、OD 交通量も大宮から浦和美園の間での移動が少ないため、このニーズを繋げて交通を通す必要性があるのかと思います。宇都宮の LRT も、工業団地まで様々経由するルートで、本当にこれで良いのかというルートに感じており、その意味で、良い事例を踏襲して計画検討するべきではないかと思います。
- ・ 人口も今後は減少し、財政も悪くなっていく見通しで、パラメーターも今後変わっていくこともあるかと思うので、検討するうえでは現実を直視された方がよいと感じました。

【事務局】

- ・ 大宮から浦和美園間のエリアは、生活圏としては隣接ゾーン間で移動が完結している様に見えます。今後の人口減少を踏まえると、構想とはいえ大宮と浦和美園を結ぶ必要性について、立地適正化計画などの将来都市構造も踏まえて、将来を見据えた検討を今後お示ししていきたいと考えています。

【大沢部会長】

- ・ あくまで今回は現況ベースでの評価ということかと思います。BRT の検証についても、輸送力としての過不足を考えており、導入空間等も含めた評価を今後お示しいただければと思います。
- ・ 今回は導入空間については分けていないと思いますが、BRT で専用レーンの場合、より定時性が向上するかもしれず、一口に BRT と言っても幅があるかと思うので、今後丁寧に説明して頂ければと思います。

【事務局】

- ・ 今回の報告では、専用レーンではない BRT で考えています。

【高田委員】

- ・ 専用軌道かどうかで、用地買収の必要性もかなり変わります。将来的には全自動のバスなども出てきて、法規も変わる可能性もあり、必ずしも専用レーンでなくても良いかもしれない。

【大沢部会長】

- ・ 先日の地域公共交通協議会でも、2024 年には交通事業者の労働時間に上限が定められ、一方で人員もなかなか増やせないという見込みが話題になっていたが、自動運転というキーワードが出てくると、あり方も変わってくるかと思います。新たな交通を導入する必要性があっても、BRT や LRT で運転手が確保できず、その結果サービスが落ちてしまう等、複雑な要素があることは、念頭に置いていただければありがたいです。

【大沢部会長】

- ・ 大宮と浦和美園間は自動車での移動が多いという報告がありましたが、国際興業の方で現在運行されている路線バスの状況や運行上の課題などありましたら、補足をお願いできますでしょうか。

【細川委員】

- ・ お話のありました拠点間の移動実態やニーズについては、特に大宮駅東口の発着の需要が多く、朝ラッシュ時における沿線の住宅地から大宮駅方向への通勤輸送と、逆に大宮駅東口から沿線に向けての通学輸送の両方面輸送が発生するのが大きな特徴となっています。
- ・ 大宮から浦和美園駅までの通しの運行は日中に 1 本程度しかなく、多くの輸送は大宮駅から東新井団地、大谷県営住宅、途中の浦和学院高校でバスを止める形で、支線系統で東ねて運行ニーズが多くなっています。
- ・ 東西交通が整備された場合、バスへの影響も大きいと思っており、例えば日暮里舎人ライナーが出来た際の並行バス路線で、一部は途中駅から結ぶという新たなビジネスチャンスがあるかもしれないが、大宮については開業直後から大幅な業績悪化をもたらす影響があるのかと思っています。
- ・ ルートにもよるが、もし大幅な業績悪化が見込まれるルートになった場合は、支線系統も含めて廃止となる状況も想定されます。現在の路線も事業者が生活環境を考えて運行しているので、例えば開業前日まで現状を維持して、開業後に一気に廃止するとか、激変対応として他のニーズや路線に振り替えることは、大宮方面の規模で実施することは現実的ではないと思います。開業に向けて段階的に、しかも中期的に廃止や減便をやらざるを得ない状況に追い込まれてしまうかと懸念しています。そのようなことが起こらないことを祈ってはいますが、このような影響があることも頭の片隅に置いて議論していただければ幸いです。

【事務局】

資料3 「令和4年度専門部会の協議内容：②社会情勢を踏まえた将来的な必要性の検証」の説明

【大沢部会長】

- ・ 検討結果の内容については、これまでのご意見を踏まえて、東西交通の意義をもう少し書いても良いかと思います。例えば公共交通の 20%利用減は戻らないかもしれないが、大宮から東京大手町に向かうような通勤の長距離のトリップが減っている可能性が高い一方で、東新井の団地に居てずっと仕事をしているが、夜は大宮に食事に行こう、といった隣接間のトリップは増えるのかもしれないということもあると思います。そうであれば、例えば商店の方と協力した買い物割引チケットなど、大宮や浦和美園の様な拠点への来訪を促す施策を考える、といった内容も考えても良いのではないだろうかと考えます。
- ・ カーボンニュートラルを踏まえて、どのような交通モードが適切かという議論をすることも必要ではないだろうかと思っています。例えば BRT は化石燃料を使うので厳しいが、

東京で導入した BRT の様に水素を使うものが望ましいですが、ただし、その場合は水素ステーションが必要になります。LRT は採算面では厳しいが、電気で動くのでカーボンニュートラルの側面では望ましい、といった話も出てきます。今後東西交通として何をすべきかは、少し夢を語っても良いのではないかと思います。

【高田委員】

- ・ 今年の 3 月から、JR でも定期料金は朝の時間帯を高く、オフピークを安くする等の動きもあり、ロードプライシング的な仕組みを社会で考えていくということも、今後は出てくるのではないかと思います。均等化するという意味で、そのような可能性も視野に入れると、未来としては面白いのではないかと思います。

【大沢部会長】

- ・ 料金施策としては、これまでの定期運賃から MaaS の様なサービスが主流になる可能性もある、ということかと思っています。そのような前提で導入される交通だという考え方もあるのではないだろうかと考えます。

【事務局】

資料 3 「令和 4 年度専門部会の協議内容：③東西交通大宮ルート導入による地域への効果の整理」の説明

【松本委員】

- ・ 東西交通を着実に前進させる上では、新しいルートということで用地確保の課題もあるが、ルートの距離も長いので、如何にして理解を高めていくかを考えなければならないと思います。
- ・ 政令市、全国を見ても人口減少が見られる一方で、現状ではさいたま市の人口がまだ増えている中で、道路整備のための用地を確保して、事業を前進する必要があります。
- ・ 東西交通は、交通政策審議会でも位置付けられているものであり、国の補助金を活用することも重要ではないだろうかと思っています。
- ・ JR でエキナカのお店を作った時は、若い人の意見を聞いたと言われています。従来は駅の中にあれほどたくさんのお店が出来て、売り上げが上がるとは思われていませんでした。若い人の柔軟な発想や、どのようなことを感じているかを含めて考えていくべきだと思います。
- ・ 最近では、盆栽が世界的に評価されていることもあり、観光も含め地元ならではのものを活かすことが重要であり、盆栽村はもちろん、見沼の緑地を他の部分で活用するなど、東西交通の役割を見出すことができると良いと思います。
- ・ 行政が市街化調整区域を広げて住宅や団地を作った時代がありましたが、住宅だけではなく、人が集まるものも考えながら、東西交通で気軽に往来できる、利用を高める方策も必要になると思います。

【大沢部会長】

- ・ 人口が現在は増えているものの、いつかは減少に転じるということも考える必要があります。多摩ニュータウンも第二世代が離れてしまったことが衰退の一因で、現在の人口を減らさないためにもエリアの価値を高める取り組みが重要ということかと思えます。新たな交通があることも、居住意向に働きかける一助となるのではないだろうかと思われま

【大沢部会長】

- ・ 首都高の延伸についても検討会が開かれたとの報道があります。例えば東京のゆりかもめも、最終的にはレインボーブリッジとの合わせ技で成立した部分があるかと思えます。単独で事業をするのが厳しい中で、合わせ技でという部分もあろうかと思えますが、当然首都高の延伸はこれからの話ですので、現在どのような形で進んでいるのか、お聞かせいただければと思います。

【小島委員】

- ・ 先日新聞報道された様に、首都高延伸の検討会（核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)地元検討会)が始まっています。これから国・県・市で連携を図りながら、地元権利者等の意見を伺いながら進めていきたいという状況でございます。

【田中オブザーバー】

- ・ 今回のご報告では、現状からの分析結果が多いですが、将来的な戦略を考えることも重要ではないだろうかと思えます。
- ・ 宇都宮 LRT がどのような経緯で現在の形になったのかということで、宇都宮市に話を伺ってきました。LRT 整備はマイナス面や否定的な意見もある中で、ある意味強引な進め方で実現したということでありましたが、大きな要因として、このまちをどうするのかという戦略的な発想があったのではないかと思います。
- ・ 将来的な市役所庁舎の移転があり、これまで大宮やさいたま新都心が大きく発展してきたというお話がありました。大宮公園のスーパー・ボールパーク構想など、他にも新たに人が集まる施設が検討されているということなので、それぞれの点だけではなく、点を繋げていく意味で、東西交通は早期に実現が必要と思えます。国の交通政策審議会でも長い間東西交通が必要と位置付けており、国でも道路の新しい検討がスタートする中で、今後どのようにリンクするのか、戦略的な発想も入れて検討を進めていただきたいと思えます。

【大沢部会長】

- ・ エリアの価値を高めて、東西交通がそれをどのように担うのか、持続的、戦略的な観点からも考えていただければと思います。
- ・ 金沢も喧々諤々の議論の中で答申に至ったという経緯がありました。空間の準備の必

要があり、道路も狭くバスもたくさん走っている中で新たな交通を入れなければという議論を進めた結果、連続性の概念が必要ではないかということで、段階的な整備という結論に至っています。

- ・ 当然段階的な整備では遅いのではないかという意見もあった中で、まずは今ある交通に対して、バスを主に高度化してみようというもので、高度化して着実なニーズができた段階で専用軌道の空間を検討する、専用軌道になればバス以外のモードが入る可能性もあるので、在来線との相互乗り入れも含めて総合的に考えようというプロセスになります。
- ・ 思考を止めずに、とにかくやれることから変えていき、アピールをしないと何も動かないということで、段階的という方針を決め、今後も引き続き議論を進めることとしています。一方で、エリアの価値をどのようにして高め続けるのかが最終目的なので、移動に関してもそのためにどうあるべきかを考えた結果、金沢ではこのような形の答申になったのではないかと考えています。
- ・ 宇都宮 LRT も今年の 8 月に開業ということで、試運転の中でハブニングもあったようですが、大きなマイナスイメージにはなっていないようで、ルート延伸の話も出て、どのように盛り上げようかとなっています。東京でも BRT、晴海フラッグシップも動きだし、さらには多摩モノレールの延伸も着手予定ということで、様々な先行事例の動きをよく見ながら検討するのが良いかと思います。
- ・ また、国からの支援を受けられるものは受けた方が良いため、補助制度の在り方についてもモニタリングしていただければと思います。

【事務局】

資料 3 「令和 3 年度専門部会の協議内容：④令和 5 年度専門部会に向けて」の説明

【大沢部会長】

- ・ 次年度のステップについて、何かご質問はございますか。
- ・ 今日頂いたご意見を踏まえて検討の熟度をあげていただければと思います

3. その他

【大沢部会長】

- ・ それでは、最後にその他について、事務局より何かございますでしょうか。

【事務局】

- ・ その他については特段ございません。

【大沢部会長】

- ・ 何か全体を通じてございますか。

- それでは、議事が終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

4. 閉会

【事務局】

- 本日は長時間にわたり活発にご議論いただきまして誠にありがとうございました。
- 次回の東西交通専門部会につきましては、時期は未定ですが、5月から6月ごろの開催を予定しております。日程は決まり次第ご案内させていただきますので、ご協力をよろしくお願い致します。
- これをもちまして、令和4年度さいたま市地域公共交通協議会第2回東西交通専門部会を閉会します。本日はありがとうございました。

以上